

第 118 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 8 月 17 日(火) 13：15～14：15

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題事項>

- ◇ 国の新型コロナウイルスの基本的対処方針の変更にあわせて、県の対処方針を変更することを決定した。

<その他>

- ◇ 「コロナかな?と思ったら(検査受診フロー)」について、県の広報媒体を活用し、県民に周知することを確認した。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、松永 企画振興統括監、松田 環境部長、小林 県警本部警備部長、名渡山 子ども生活福祉部長、崎原 農林水産部長、島袋 土木建築部長、嘉数 商工労働部、真鳥 観光政策統括監、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、
テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長 比嘉 八重山保健所長

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】

- ✓ 8/16 の新規発生は 339 名、合計 33,248 名、入院中 649 名、うち重症 20 名、うち中等症 505 名、入院調整 2,087 名、宿泊施設療養中 376 名、自宅療養 2,269 名で療養中患者計 5,542 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】

8/16 時点、米軍基地内で 24 名の新規陽性者が確認されている。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-8】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 療養者数、病床占有率、新規感染者数、新規 PCR 検査の陽性率は、第 4 段階にある。
 - ✓ 重症者用病床占有率及び感染経路不明な症例の割合は第 3 段階にある。
 - ✓ 国の判断指標でも、療養者数、病床占有率、重症者用病床占有率、新規感染者数、PCR 陽性率、入院率の項目がステージⅣ相当となっている。
 - ✓ 宿泊施設療養中が 376 人、自宅療養中が 2,269 人と過去最多となっており、医療のひっ迫が続いている。
 - ✓ 非コロナ病床の利用率は 91.9%となっている。
 - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は、286.19 で、全国ワースト 1 位の状況。
 - ✓ 市町村別の人口 10 万人あたりの新規陽性者数で見ると、市部では、那覇市、沖縄市、うるま市、豊見城市、宮古島市で 300.0 を超えており、流行が続いている。
 - ✓ 新規感染者に占める 60 歳以上の割合は、10%を下回っており、ワクチンの効果によるものと推測される。
 - ✓ 重症・中等症者の数も過去最多の値となっており、医療のひっ迫が懸念される状況である。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料 4】

- 総括情報部から、宿泊療養施設の入居状況等について報告。
 - ✓ 那覇市は 2 カ所が稼働しており、計 215 人が療養している。

- ✓ 中部地区では、8/12 からアンサ沖縄リゾートが宿泊療養施設として稼働しており、64 人が療養している。
- ✓ 他の地域については、北部で 47 人、宮古で 33 人、八重山で 23 人が療養中となっている。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料 5】

- 沖縄県人口変動状況については、「報告（12）沖縄県緊急共同メッセージの効果と対応について」で報告。

(6) クラスターの発生状況について

- 時間の都合上、説明を割愛。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料 6】

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 施設等で散発的に陽性者が確認されているが、接触者の検査を実施しても、追加の陽性者は確認されておらず、ワクチンの効果が出ているものと思われる。
 - ✓ これまで、飲食業・観光業関連の感染者が多かったが、建設業従事者の感染者も増えてきている。そこで、島内の建築事業者にパンフレットを配布し注意喚起を行ったところである。
 - ✓ また、地元マスコミを通じて、世界でもトップクラスの流行状況であること、若年層の感染がとて多いこと等を広報している。
 - ✓ 地元医師会の協力により、宿泊療養施設で勤務する看護師の派遣、発熱外来の設置、訪問看護の実施等を強化できる見込みである。
 - ✓ 感染者の急増により、疫学調査に遅れが生じはじめていることから、管内の県の機関等に協力を依頼しながら対応しているところである。

- ✓ 救急搬送等についてもひっ迫してきている状況であることから、民間救急の活用についても検討が必要な状況である。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 八重山地域では、8/10～8/16にかけて181名の感染者が確認されており、半数以上を20代・30代が占めている。
 - ✓ 感染経路については、職場・会食での感染が多い状況である。
 - ✓ 与那国町で8月に入って、44名の陽性者が確認されている。観光客との接触が流行の契機となっている可能性があるが、はっきりとしていない状況である。
 - ✓ 与那国町では60代以上については、ワクチン接種がされているが、それ以下の世代では台風等の影響により、ワクチン接種が進んでいないため、感染者の増加に繋がった可能性がある。
 - ✓ 与那国町の陽性者について、病院での治療が必要な者の移送については、海上保安庁の協力を得ながら、与那国診療所・八重山病院・八重山保健所が連携して対応しているところである。
 - ✓ 八重山地方においても、感染者の急増により疫学調査・健康観察が追いついていないことから、八重山保健所の生活環境班の業務を休止し、疫学調査・健康観察対応を行っているところである。

(8) 変異株について【資料7】

- 総括情報部から、変異株の解析状況及び患者発生状況について報告。
 - ✓ 8/9～8/15は、426件の検査を実施したところ、その内376件がL452R（デルタ株）陽性となっており、デルタ株への置き換わりが進んでいる。(88.26%)。

(9) PCR検査事業の状況について【資料8】

- 総括情報部から、検査事業実績について報告。

- ✓ エssenシャルワーカー定期 PCR 検査の実績について、8/9～8/13 は、介護関係者 8,517 人が受検した結果、9 人が陽性であった（陽性率 0.11%）。また、障害者施設関係者 3,993 人が受検した結果、4 人が陽性であった（陽性率 0.10%）。保育施設関係者については、陽性者は確認されなかった。
- ✓ 安価な PCR 検査補助の実績について、8/6～8/13 は 11,747 人が受検した結果、陽性者 465 人、陽性率 3.96%であった。
- ✓ 飲食店検査の実績について、8/7～8/13 は 384 人が受検した結果、陽性者 50 人、陽性率 13.02%であった。
- ✓ モニタリング検査の実績について、8/2～8/8 は、492 人が受検した結果、陽性者は 0 人であった。
- ✓ 学校 PCR 検査の実績については 1,224 人（40 校）が受検した結果、陽性者 22 人、陽性率 1.8%であった。

（10）ワクチン対策チーム進捗状況について【資料 9-1～9-3】

- 総括情報部から、住民向け進捗状況等について報告。
 - ✓ 高齢者については 276,206 人（85.4%）が 1 回目のワクチン接種を完了しており、257,669 人（79.7%）が 2 回目のワクチン接種を完了している。
 - ✓ 全住民（医療従事者含む）で、1 回目のワクチン接種を完了した人は 603,918 人（40.8%）。また、2 回目までワクチン接種が完了した人は 439,266 人（29.6%）となっている。
 - ✓ 職域接種については、8/17 時点で、申請 39 件、県承認 39 件、国承認 28 件となっている。

（11）空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の運用状況等について【資料 10】

- 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の状況につい

て報告。

- ✓ 空港 PCR 検査プロジェクトについて、8/9 の週の受検者は 3,106 名で、その内 59 名が陽性であった。
- ✓ 那覇空港抗原検査について、8/9 の週の受検者は 1,528 名で、その内 15 名が陽性であった。
- ✓ TACO について、8/9 の週のサーモグラフィー通過者は 168,642 人で、その内 発熱者は 0 人であった。
- ✓ RICCA について、8/13 時点の登録者数は 110,092 人となっている。

(12) 沖縄県緊急共同メッセージの効果と対応について

➤ 総括情報部から、沖縄県緊急共同メッセージの効果と対応について報告。【資料 11 ~11-3】

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、県、市町村、県内の医療・経済団体等と連名で、外出自粛・感染防止対策の徹底を依頼する共同メッセージを出したところである。
- ✓ メッセージの期間については、当初、8/1~8/15 までとしていたが、感染の拡大に歯止めがかかっていないことから、期間を 8 月末までとし、改めて県民に対し外出自粛・感染予防対策の徹底を依頼する。
- ✓ 沖縄県緊急共同メッセージ発出後の人流については、繁華街エリア、商業エリア、空港エリアとも減少している。
- ✓ 商業エリアについては大規模商業施設の休業協力により、おもろまちで大きな人流の減少が見られる。一方、北谷や名護において人流が増加している地域もあり、注意が必要である。
- ✓ 推定感染源が飲食店関係の陽性者数及び移入例の陽性者数については、高止まりしており、対策の継続が必要である。

(13) その他報告事項について

- 病院事業局から、県立病院の状況等について報告
 - ✓ 8/17時点の県立病院の入院患者数は219人となっている。
 - ✓ 病床については、281床から299床に増床している。
 - ✓ 北部病院の循環器内科職員1人の陽性が確認されたため、接触者39名にPCR検査を実施したところ陽性者は確認されなかった。
 - ✓ 北部病院では、8/27まで内科・循環器内科の救急外来を制限する。
 - ✓ 与那国島において28人の陽性者が確認されたことから、八重山病院から与那国島へ医師・看護師を派遣している。
 - ✓ 県立病院の職員で、ワクチンを2回接触したにもかかわらずブレークスルー感染をする職員も確認されており、看護師不足に繋がることを懸念している。
- 知事公室から、離島患者の救急搬送について報告
 - ✓ 海上保安庁から、航空機の機体トラブルのため、航空機による搬送は対応できないとの連絡があった。ただし、通常の移送についてはこれまでと同様に対応するとのこと。
 - ✓ 重症者の搬送については、陸上自衛隊による搬送も検討しており、協議中である。
 - ✓ 宮古地方対策本部から意見のあった、民間救急の活用については、防災危機管理課においても検討する。
- 農林水産部から、漁船におけるクラスターの発生について報告
 - ✓ 県内で操業する漁船においてクラスターが発生しており、外国人従事者にも感染が広がっている。
 - ✓ 県内に住民票がない外国人についても、県内の居住実態がある場合は、予防接種に配慮するよう厚労省から通知が出されていることから、那覇市に対して外

国人漁業従事者の予防接種について調整しているところである。

- ✓ また、ワクチン接種を円滑に進めるために、県においても広域ワクチン接種センターでの接種を検討する必要がある。

→総括情報部から、県内に居住実態のある外国人については、居住実態のある自治体でワクチン接種をすることとなっていることから、県の広域ワクチン接種センターの活用も含めて検討すると回答。

(報告(1)～(13)に関する発言等について)

- ✓ 土木建築部から、宮古地区において建設業従事者の感染者が増えているとの報告があったことから、宮古土木事務所長が8/13に建設業協会宮古支部を訪問し、感染予防対策徹底の申し入れを行ったとの報告があった。

- ✓ 宮古管内において検討されている、宿泊療養施設内に訪問看護用のスペースを設けることのメリット・課題について質問があった。

→宮古地方本部から、宿泊療養施設内に訪問看護のスペースを設けることのメリットは、①訪問看護の形態をとることにより、医療施設ではない宿泊療養施設での看護が実施できること(※法的に問題ないか確認中)、②訪問看護の移動時間を削減できることが挙げられると説明。また、課題としては、体育館のような広いフロアを活用する場合に比べて、必要な人員が増えることであると説明。

- ✓ 八重山において、疫学調査・健康観察の対応要員が不足しているとのことだが、どのような対応を検討しているか質問があった。

→八重山地方本部から、八重山管内の県の機関に対し人員の派遣を依頼し対応しているところであると回答。

3 議題

(1) 沖縄県対処方針の変更について

➤ 総括情報部から、沖縄県対処方針の変更について説明。

◆ 沖縄県対処方針変更の理由

- ✓ 8/17 付けで、国の新型コロナウイルスの基本的対処方針が変更される予定であることから、沖縄県対処方針の変更についても検討が必要である。

◆ 変更の内容

- ✓ 実行再生産数、病床使用率等の情報を最新のデータに更新する。
- ✓ 県民に対し外出を半減するよう、具体的な要請を行う。また、各店舗が取り組む対策について協力ことについても要請する。
- ✓ 学校等に対し、地域の状況を踏まえ分散登校を要請する。
- ✓ 大規模商業施設に 8/21, 22, 28, 29 の休業を要請する。
- ✓ 大規模施設における入場者の管理・整理誘導等の徹底の実施例として、混雑時間帯の明示、混雑時の館内アナウンス等による滞留抑制、入場者数の上限設定を行うよう例示する。
- ✓ なお、現在のところ、大規模施設における入場者の管理・整理誘導等の徹底については、新型インフルエンザ等対策特別措置法第 24 条第 9 項に基づき要請しているが、8/20 以降、国から根拠を新型インフルエンザ等対策特別措置法第 45 条第 2 項に基づく要請に変更し、対策を強化するよう要請がある見込みであることから、その際は改めて、県の対処方針を変更する必要がある。

(議題 (1) に関する発言等)

- ✓ 大規模商業施設に対する入場者の管理・整理誘導等の徹底について、8/20 以降に、根拠条文の変更をする場合、短期間での変更となり県内事業者を混乱させる恐れがあることから、今のうちから、根拠条文を変更してはどうかとの意見があった。

→総括情報部から、根拠条文に関わらず、大規模商業施設に対する要請内容は変わらないことから、今回の変更から、根拠条文を新型インフルエンザ等対策特別措置法第45条第2項とすると回答。

✓ 教育庁から、学校における分散登校については、最終学年を除き5割減となるよう実施する予定であるとの報告があった。

✓ 国の対処方針では、抗体カクテル療法の薬剤を予め配布するとの記載があるが、県の対応はどうなっているか質問があった。

→総括情報部から、抗体カクテル療法については県内の一部の医療機関で実施中であること、県の宿泊療養施設で実施する場合には、人員等の追加確保が必要である等の理由から検討中であることを報告。

✓ 今回の対処方針案では、期間を8/31までとしているが、緊急事態宣言の延長期間に合わせて延長する必要がないのか質問があった。

→総括情報部から、期間の延長については、県内の経済団体等の理解を得た上で変更することが望ましいことから、県内経済団体等の意見交換を経た上で、期間の変更を決定したいとの説明があった。

➤ 最後に、沖縄県対処方針の変更について、今回の対策本部会議で出された意見を反映させた内容で変更することを決定した。

➤ なお、沖縄県対処方針の期間については、県内経済団体等の意見を聴取した上で、改めて延長することを確認した

4 その他

(1) 「コロナかな?と思ったら(検査受診フロー)」の周知について

➤ 総括情報部から、「コロナかな?と思ったら(検査受診フロー)」の周知について説明。

- ✓ 市販されている検査キットの結果により、県内重点医療機関に直接来院する県民が増えており、現場で混乱が生じていることから、検査から受診までのフローを整理しているところである。
- ✓ 市販されているキットでの検査において、陽性となった場合は、直接医療機関を受診するのではなく、PCR検査センターを受検するよう、県民に案内することとしている。

(その他(1)に関する発言等)

- ✓ 「コロナかな?と思ったら」の活用方法について質問があった。
→総括情報部から、検査キットを販売している事業者に対し、検査受診フローを周知し、利用者への指導を依頼する予定であること、今後、国・県で実施する検査キットの配布事業においても同様の対応とすることを説明。
- ✓ 「コロナかな?と思ったら」のポスター等の作成について質問があった。
→総括情報部から、ポスター等の作成については検討中であることを説明。
- 最後に、「コロナかな?と思ったら」について、県の広報媒体を活用し、県民に周知することを確認した。

5 閉 会